

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2738414
園名	麻の実幼稚園

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

音楽

＜テーマの設定理由＞

在園期間を通して、歌やリズムあそび、楽器に触れる機会を多く設けている。
また、毎年2月下旬には学年の総まとめとして、音楽会を実施している。
より積極的に音楽・楽器に触れ、音楽の楽しさや達成感を感じ、また、自分なりに表現できるようにすすめていく

2. 活動スケジュール

- ・毎日、歌や音楽に触れる（朝の歌、食事の歌、季節の歌など）
- ・各学年毎月1回ずつ、専門の講師によるリトミックあそびや楽器・歌唱指導
- ・（年長）10/4 運動会にて鼓笛隊演奏
- ・2/20 音楽会にてリズムあそび・合奏の披露
合奏の練習はクラス・学年を問わず見学をできるようにする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・全学年が鈴・カスタネットを、年中・年長は鍵盤ハーモニカを個人持ちとして部屋に置き、自由に使えるようにする
- ・様々な楽器を用意（バスドラム、スネアドラム、シンバル、エコー、鉄琴、木琴、タンバリン、トライアングル、ウッドブロック等）
- ・叩くものによる音の違いを感じられるよう、バチやマレット、スティックなども複数用意

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ピアノの音やリズムから感じたことを自分なりに身体で表現した。
 - ・音階や音符などを理解し、様々な楽器に触れ、合奏・発表することでの達成感を味わった。
 - ・合奏練習の過程で、他のクラスや他学年の子と様子を見合い、また、動画で自分たちの演奏も見て、同じ曲の演奏でも表現が変わることの面白さに気付いた。
- また、自分や友だちの演奏について様々な意見を交わし、向上意欲を高めたり上達する喜びへ結び付けていった。
- ・発声や姿勢を意識して歌う楽しさを得た。

<活動中の子供達の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・リトミックにおいて、「先生対園児」ではなく「先生と園児が一緒」の形式を取ったことで、子どもたちが他の子の動きを見て刺激され、同じ動きを取ろうとしたり、逆に異なる動きに変えるなどの様子が見られた。
- ・合奏においては、同じ楽器を担当する他のクラスの園児とのかかわりが増え、音楽活動以外の時間にもコミュニケーションを取るようになり、それがまた音楽活動での会話や教え合いにつながっていた。
- ・上の学年の合奏練習や発表を見る中で、「来年になったらあの楽器をやるぞ」と新しい楽器に挑戦することや、進級すること自体も楽しみにする姿があった。
- ・自分たちの合奏の動画を見て振り返ることで、客観視したり言語化して伝えるなど、向上したいという意欲を感じた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたち同士がお互いを見合えるような環境を用意することで、他の園児に刺激を与えたり受けたりできるようになることを実感した。
- また、言語化を上手くできない園児がいた際に、思いを伝える手助けをすることで、積極的に意見交換できるようになっていた。
- ・